

# 令和2年度 社会福祉法人修倫会事業報告

## I 基本理念

社会福祉法人修倫会は地域と共に、地域福祉のセーフティネットを構成する社会資源として、障がい者支援の役割を担い信頼される法人をめざします。

## II 基本方針

「利用者の自己選択」「就労支援の強化」「地域生活支援」をキーワードに、以下の3点を基本方針とする。

- (1) 利用者の人権を尊重し満足度の高い福祉サービスに努める。
- (2) 各事業所及び職員の連携を強化し、社会資源やネットワークの活用にも努める。
- (3) 職員は、支援者としての役割を自覚し専門性の向上にも努める。

## III 経営事業

この社会福祉法人は、多様な福祉サービスその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ心身ともに健やかに育成され、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として次の事業を行った。

### ○第二種社会福祉事業

#### (1) 障害福祉サービス事業

就労継続支援B型（定員40名）「松柏園」

就労継続支援B型（定員40名）・共同生活援助（定員22名）「みずき園」

就労継続支援B型（定員20名）「あすリード本舗」

#### (2) 一般相談支援事業

地域移行支援・地域定着支援「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」

#### (3) 特定相談支援事業

特定相談支援事業「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」

#### (4) 障害児相談支援事業

障害児相談支援事業「チャレンジドセンター久慈相談支援事業所」

#### (5) 障害者就業・生活支援センター事業〈生活支援等事業〉

「久慈地区チャレンジド就業・生活支援センター」

### ○公益事業

#### (1) 障害者就業・生活支援センター事業〈雇用安定等事業〉

「久慈地区チャレンジド就業・生活支援センター」

## IV 経営方針

法人が経営する「松柏園」、「みずき園」、「あすリード本舗」、「チャレンジドセンター久慈」の4事業所が相互に連携し協働のもと、激変する経営環境を見極めながら、次の項目に取り組んだ。

### (1) 経営基盤の強化

事業経営の中心となる就労継続支援B型事業の利用者増に向け、地域の利用希望者ニーズを探り、その受け入れを積極的に図った。

あすリード本舗では、4月に特別支援学校高等部新卒者3名を受け入れた。あすリード本舗の平均工賃が比較的に高いことと、一般就労への移行実績があることから、特別支援学校卒業後の進路として有力な選択肢と成り得ている。一方で、一般就労等が進むことにより一定の退所者が見込まれることから、継続的な受け入れが課題である。

松柏園及びみずき園では特別支援学校在校生の実習希望があることから、新型コロナウイルス感染対策を十分に講じたうえで、可能な限りの実習受け入れを行った。その結果1名が松柏園利用を希望し、次年度の利用につながった。

### (2) 人材の確保

福祉人材確保が厳しい状況の中、職員の定着を図るため、一般職正規職員及び有期契約職員の給料月額と時給単価を見直し、給与の底上げを行う等処遇改善に努めた。

新規採用については、給与規程に定める初任給基準を引き上げ、新卒者の獲得を視野に入れた準備を行った。また、一定の経験と技術を有する定年退職者の活用を図るため、定年再雇用規程を整備し、再雇用に向けた条件整備を行った。

通所系事業の基本サービスである送迎体制について、運転手の確保が厳しい状況であるため、業務委託契約から雇用契約へと基本的な雇用条件の見直しを行い、継続的な体制の整備を図った。

### (3) サービスの質の向上

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、法人全事業所で外出制限や行事等の中止・縮小といった活動の見直しを余儀なくされた。そのため、施設内での代替行事等に切り替え、少しでも楽しんだり気分転換できるよう内容を工夫して対応した。

職員研修については、新型コロナウイルス感染予防の観点から、集合形式の法人職員研修会を中止とし、真に必要な外部研修への参加に限定して対応した。

### (4) 財政の安定化

労働法制の改正や処遇改善により人件費が増加傾向にあり、厳しい財政状況に置かれている。このため、現行サービスへの影響が極力出ないように配慮しつつ、可能な部分での支出削減に努め、財政の安定化を図った。また、新型コロナウイルス感染症の全国的な流行を受け、事業所の閉鎖や臨時休業により収入が途絶えた場合に備え、人件費積み立て等の財政措置を行った。

サービス活動増減では、新型コロナウイルス感染症の影響により就労支援事業収益が大幅に減少したものの、就労支援事業費用及び事務費の削減幅が大きく、収益率が改善された。また、各事業所において設備等の修繕が増加しているため、適正価格で執行できるよう業者選定に努めた。

## V 法人の運営

### 1 評議員会の開催状況

開催日	出席者数		内 容
	評議員 (定数7)		
定 時 6月23日	7		(1) 報告事項 令和元年度事業報告について (2) 議案 令和元年度計算書類及び財産目録の承認について

### 2 評議員選任・解任委員会の開催状況

今年度の開催はありませんでした。

### 3 理事会の開催状況

開催日	出席者数		内 容
	理 事 (定数6)	監 事 (定数2)	
第1回 6月8日	6	2	(1) 報告事項 経理規程細則別添1「共通経費の配分基準表」の一部変更について 苦情受付について 新型コロナウイルス感染防止対策について (2) 議案 令和元年度事業報告について 令和元年度決算について 令和2年度定時評議員会の招集について 定年再雇用規程の一部変更について 令和2年度第1次補正予算について
第2回 11月26日	6	2	(1) 報告事項 理事長等職務執行状況の報告について (2) 議案 令和2年度第2次補正予算について
第3回 3月24日	6	2	(1) 報告事項 理事長等職務執行状況の報告について 令和2年度障害福祉サービス事業者等の実地指導の実施結果について (2) 議案 令和2年度第3次補正予算について

			育児・介護休業規程の一部変更について 令和3年度事業計画について 令和3年度予算について 松柏園園長の任命について
--	--	--	--

#### 4 監事監査

監査等	開催日	内 容
決算監査	5月26日	令和元年度業務執行状況及び財産状況監査 監 事：佐々木信蔵、勝田好正 説明者：間健倫理事長、田代順専務理事、 各事業所管理者4名及び事務員4名
出納調査	5月26日	1月～3月までの会計執行状況
	8月27日	4月～6月までの会計執行状況
	11月24日	7月～9月までの会計執行状況
	2月24日	10月～12月までの会計執行状況

#### 5 会計顧問による月次会計監査

会計顧問「税理士法人つばさ会計」による月次監査を毎月実施し、1か月毎の会計・経理を明らかにし現況を把握した。

委嘱契約の内容 (1) 会計顧問 (2) 決算監査 (3) 税務顧問

#### 6 福祉サービスに係る苦情解決事業

##### (1) 苦情解決体制

各施設ごとに苦情受付窓口を設置し利用について広報と啓発に努めた。

##### (2) 苦情受付

苦情解決規程に基づく苦情受付はありませんでした。

#### 7 虐待防止の取り組み

##### (1) 虐待防止対応体制

虐待防止対応責任者、虐待防止受付担当者、第三者委員を配置し、利用者に対する虐待防止を図るとともに、利用者の人権を保護し、健全な支援の提供に努めた。

##### (2) 虐待通報受付

虐待防止対応規程に基づく虐待通報受付はありませんでした。

##### (3) 虐待防止委員会

法人内に各事業所の責任者、担当者で構成する「虐待防止委員会」を設置し、虐待の防止と適正な支援の実施に向けた取り組みを行った。

今年度は2回開催し、職員倫理綱領の周知や職員チェックリストの活用と課題検討を行った。

## 8 地域における公益的な取組

### (1) 「IWATE・あんしんサポート事業」の実施

地域の市町村行政や社会福祉協議会等と連携・協力しながら、さまざまな生活課題を抱える皆さまの相談に応じ、日常生活上の福祉的な困りごとの解決に向けて支援していく社会貢献（地域公益）活動を実施した。

今年度のあんしんサポート事業の実施状況は次のとおりです。

	受付日	市町村	情報提供者	種別	経済的援助	援助回数	内容	支給済額	対応結果
1	4月7日	久慈市	久慈市社会福祉協議会	精神・低所得失業・多重債務	要	2	生活費関係	47,236	終結

## 9 情報公開

### (1) ホームページへの掲載

法人ホームページを開設し、社会福祉法人に公表が義務付けられている事項及び積極的な公表事項について公開した。

#### ○社会福祉法に基づく公表事項

定款の内容、報酬等の支給の基準、計算書類、役員等名簿、事業の概要

#### ○積極的な公表事項

事業報告書、計算書類の付属明細書、財産目録、社会福祉充実残額算定シート、監査報告書

### (2) 法人機関紙の発行

法人機関紙を年1回発行し、関係機関への配布や事業所内での掲示を通じて活動状況と決算資料を公開した。

## 10 研修の状況

職員研修については、新型コロナウイルス感染予防の観点から、真に必要な外部研修への参加に限定して対応した。

また、例年実施している集合形式の法人職員研修会を中止とし、虐待防止に係る同一テーマの復命研修を事業所単位の内部研修として実施した。

### (1) 各施設の職員研修

施設名	内部研修の実施回数	外部研修	
		参加回数	参加延人数
松柏園	2	8	10
みずき園	2	4	7
あすリード本舗	1	2	2
チャレンジドセンター久慈	5	4	6
合計	10	18	25

1 1 役員等の状況（令和3年3月31日現在）

【評議員7名（定数7名）】

田表 一夫                      日沢マサ子                      田中 泰郎                      瀧 重吉  
 村田 幸江                      松野下富則                      七十刈清明

※ 任期 就任年月日：平成29年4月1日  
 満了年月日：令和3年6月に開催される定時評議員会終結の時

【理事6名（定数6名）、監事2名（定数2名）、顧問1名】

理事長 間 健倫                      専務理事 田代 順                      理 事 中野 信男  
 理 事 大崎 恵作                      理 事 間 加壽子                      理 事 高屋敷真喜子  
 監 事 佐々木信蔵                      監 事 勝田 好正                      顧 問 河野 貫治

※ 任期 就任年月日：令和元年6月20日  
 満了年月日：令和3年6月に開催される定時評議員会終結の時

【評議員選任・解任委員4名（定数5名：外部委員1名欠員）】

外部委員 岩崎 壽吉                      監事 佐々木信蔵                      監事 勝田 好正  
 事務局員 古舘 哲雄

※ 任期 就任年月日：平成29年3月3日  
 満了年月日：令和3年6月に開催される定時評議員会終結の時

【第三者委員2名（定数2名）】

神田 秀子（元評議員）                      神田 光子（元民生児童委員）

※ 任期 就任年月日：令和元年6月20日  
 満了年月日：令和3年6月に開催される定時評議員会終結の時

1 2 職員配置（令和3年3月31日現在）

施設名	職員数 (兼務再掲)	内 訳		
		常用職員 (兼務再掲)	有期契約職員 フルタイム	有期契約職員 パートタイム
松柏園	15 (1)	8 (1)	1	6
みずき園	25 (1)	12 (1)	6	7
あすリード本舗	12	9	1	2
チャレンジドセンター久慈	7	6	1	0
合 計	58	34	9	15

## Ⅵ 事業内容

各施設、事業所の内容は別紙報告書のとおりである。

- ・令和2年度松柏園事業報告
- ・令和2年度みずき園事業報告
- ・令和2年度みずき園共同生活援助事業報告
- ・令和2年度あすリード本舗事業報告
- ・令和2年度チャレンジドセンター久慈事業報告

## Ⅶ 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

# 令和2年度 松柏園事業報告書

## 1 総括

松柏園運営規程に基づき、利用者一人ひとりの障がい特性や個性を尊重しながら、生産活動を通じて就労移行に向けた知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら適正な指定就労継続支援B型サービスを実施した。

就労支援事業においては、新型コロナウイルス感染症により地域でのイベントの延期・中止が相次ぎ、収益にも大きく影響があったが、各作業部門での営業の強化、作業科間での連携システムの構築、経費削減を継続した結果、平均工賃30,514円となり目標額を上回ることが出来た。

施設の利用状況は、高齢化や疾病の進行等に伴い長期欠席者もあった事により、平均利用者数が減少傾向にあることが課題となった。

## 2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成19年4月1日
- (3) 定員 40名
- (4) 主たる対象者 身体障害者、知的障害者
- (5) 就労支援種目 クリーニング、縫製、シルクスクリーン印刷
- (6) 職員の配置状況 (令和3年3月31日現在) (単位：人)

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算
		専従	兼務	専従	兼務	
園長（管理者）	1		1			1
副園長兼職業指導員	1	1				1
サービス管理責任者	1	1				1
生活支援員	3	3				3
職業指導員	4	1		3		3.1
目標工賃達成指導員	1	1				1
事務員	1	1				1
業務員	1			1		0.7
運転手	2			2		0.8
合 計	15	8	1	6		12.6

## 3 施設サービスの状況

### (1) 個別支援

アセスメントにより利用者と家族のニーズを把握し、希望する日中活動や生産活動の方向性及び就労移行に対する考え方を含めた個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービス提供に努めた。



(2) 作業支援

利用者個々の障がい特性に応じた作業ができるように、可能な限り作業工程の単純化を図り、道具の工夫や手順の標準化に努め、継続的な作業環境の整備に努めた。また、利用者個々のスキルアップや能力を向上するための作業支援に努めた。

一方で、加齢により作業能率の低下が見られる利用者が増えつつある現状を踏まえ、対象となる利用者に対しては健康管理を優先し、無理の無い作業の取り組みとなるよう配慮した。

(3) 実習・就労移行支援

一般就労、就労移行希望者がいなかったが、利用者個々のスキルアップや能力・就労意欲の向上が図れるよう支援に努めた。

(4) 社会生活支援

新型コロナウイルス感染症対策を優先し、外出を伴う行事の自粛や行事規模を縮小する等の対応を余儀なくされたが、利用者の生きがいのある豊かな生活のため、各種の園内行事を創意工夫しながら実施した。

- ・親睦旅行代替行事（塩作り体験）、忘年会（一年を締めくくる会）、慰労食事会等

(5) 給食サービス

給食を希望する利用者を対象に、栄養と利用者の身体状況や嗜好に配慮し、バラエティーに富んだ手作りの食事（有料）を提供した。

- ・給食サービス利用者数 39名（利用率95%）
- ・食事提供に係る実費徴収額 1食当たり300円

※低所得者の軽減措置適用の該当者は原材料費相当額の258円

(6) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、定期的に血圧・体重測定を行うほか、健康診断を年1回（2月）実施。また、希望者（17名）には医療機関においてインフルエンザの予防接種を実施した。

新型コロナウイルス感染症対策として、毎朝の検温の実施と自動アルコール噴霧器を設置し手指の消毒に努めた。

(7) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通勤が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

- ・送迎サービス対象者数 39名（利用率95%）

(8) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、松柏園消防計画に基づき、消防署指導による防災総合訓練（年1回10月）、通報・避難訓練（年1回4月）を実施した。

(9) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、グループホームとの連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

グループホーム利用者に対しては、みずき園グループホーム個別支援会議へ担当支援員が参加するなど、グループホーム職員との情報共有を図りながら、チームケアの一員として生活支援に努めた。

#### 4 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

(1) 月別在籍利用者数

(単位：人)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男性(人)	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	324	27.0
女性(人)	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168	14.0
合計(人)	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	492	41.0

(2) 障害別利用者状況

(単位：人)

種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計	
程度	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級	3級	手帳なし		
人数	3	9	0	2	1	1	0	2	2	1	1	0	1	41
小計	16						2		2					

(3) 年齢別利用者状況

(単位：人)

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
人数	0	8	2	9	10	12	41	50.9歳

(4) 出身市町村別利用者状況

(単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	その他	計
人数	28	6	4	3	0	41

#### 5 施設利用状況

月別区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数(日)	22	19	22	23	21	22	22	21	21	20	20	23	256
延利用者数(人)	832	716	829	866	764	836	828	762	774	714	733	844	9498
1日平均利用者数(人)	37.8	37.7	37.7	37.6	36.4	38.0	37.6	36.3	36.9	35.7	36.7	36.7	37.1
利用率(%)	92.2	91.9	91.9	91.8	88.7	92.7	91.8	88.5	89.9	87.1	89.0	89.5	90.5

## 6 就労支援事業の状況

### (1) 年間就労支援事業収入

作業科	収入(円)	前年度対比(%)
クリーニング	32,250,307	103.6%
縫製	2,245,914	104.6%
シルクスクリーン印刷	13,649,305	78.0%
合計	48,145,526	94.8%

### (2) 工賃支給状況

	令和2年度目標	令和2年度実績	備考(前年度実績)
平均工賃月額	30,500円	30,514円	30,218円

### (3) 各科の状況

#### <クリーニング科>

主力となる4施設の入所者私物クリーニングは、新型コロナウイルス感染予防対策の影響で、入所者の家族が持ち帰って洗濯する量が減り、松柏園で取り扱う洗濯物の量が増加した。その為、前年度に比べ売り上げを伸ばす事ができ、15.1%増となった。

宿泊施設のリネンリースは、工事関係者の利用はあったが、観光客が減少したため、売上を伸ばす事ができず、前年比14.6%減となった。

一般クリーニングは、イベント関係の洗濯物がなく、売り上げも減少したが、民間事業所のユニホームや白衣の受託、学校や団体への継続的な営業努力により取り扱い件数の増加に繋がった。

クリーニング収入内訳(円)		前年比%
施設利用者私物(老健等4施設)	22,370,400	115.1
リネンリース(旅館1か所)	4,045,758	85.4
基準寝具業務(特養1施設)	1,741,141	103.1
一般(団体等)	4,093,008	77.9
計	32,250,307	103.6

#### <縫製科>

新型コロナウイルスの影響により、各種生産の変更や予定数の減少が見られた。先行き不透明ななか担当者との打ち合わせを密にし、コロナ禍でも必要とされるマスク等に関わる作業も取り入れた結果、年間売上は前年比4.6%増となった。

また、9月より新規縫製事業所C社からの受託を開始し、作業の確保につなげた。新規の慣れない作業の入荷も多かったが、利用者への作業指示を明確にし、職員間で情報共有をしながら作業を進めた。

作業面においては、高齢の利用者が多く体調不良に伴う長期休みもあったが健康面、安全面の確認を行い、無理のない作業への取り組みとなるよう配慮した。

縫製収入内訳(円)		前年比%
子ども服仕上げ受託縫製事業所A社	1,248,714	95.1
バック付属品受託縫製事業所B社	850,335	102.0
ジャージ糸切り受託縫製事業所C社	146,865	—
計	2,245,914	104.6

<シルクスクリーン印刷科>

年間売上は、前年比22%減となった。新型コロナウイルス感染症の影響により、秋祭りや学校関係等、大口で注文をいただいているイベントの中止が相次いだ事の要因が大きい。なかでもTシャツ類の売り上げは、あまちゃんマラソン中止による影響が大きく48.1%減となった。

新型コロナウイルス感染症の影響が続いたが、売り上げを確保するため、布マスクや缶バッジ等の対策グッズや啓発用品を作成し、各方面への営業や地元広報誌に掲載する等宣伝に努めた。

作業面では、タオルの刷り作業の技術指導や、インク作成の工夫を行う等、作業効率の向上を図った。

シルクスクリーン印刷 収入内訳（円）		前年 比%
タオル類	4,449,840	76.9
Tシャツ類	3,833,700	51.9
のぼり旗類	2,456,400	105.1
その他のアイテム	2,909,365	145.2
計	13,649,305	78.0

7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参 加 者 等
4	1	「松柏園だより」発行		
	7	親睦会役員会	食堂	利用者、職員2名
	9	避難訓練	園敷地内	利用者、職員
	10	親睦会総会	食堂	利用者、職員6名
5				
6	1	「松柏園だより」発行		
	4	親睦会役員会	会議室	利用者、職員2名
7				
8	3	「松柏園だより」発行		
	5	親睦会役員会	会議室	利用者、職員2名
	13	特別工賃支給		
	14~16	お盆休み		
	29	親睦旅行代替行事(塩作り体験)	食堂	利用者30名、職員14名
9				
10	1	「松柏園だより」発行		
	8	親睦会役員会	会議室	利用者、職員2名
	22	避難訓練	園敷地内	利用者、職員
11				
12	1	「松柏園だより」発行		
	8	親睦会役員会	会議室	利用者、職員2名
	15	特別工賃支給		
	17	忘年会（一年を締めくくる会）	食堂	利用者39名、職員14名
	25	クリスマス会	食堂	利用者、職員
	29	大掃除		
	30~1/4	年末年始休み		
1				

2	1 1	「松柏園だより」発行 利用者健康診断	みずき園	利用者
3	4 2 4	親睦会役員会 慰労食事会	会議室 食堂	利用者、職員 1 名 利用者 38 名、職員 11 名

\* 毎月 1 5 日は工賃支給日、体重・血圧測定、ごちそうの日

## 8 会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月 1 回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定について
毎月 1 回	授産会議	全職員	授産業務全般、工賃等について
毎月 1 回	支援会議	全職員	利用者の個別支援について
毎月 1 回	運営会議（4 事業所合同）	園長、副園長、主任	法人内全事業所の運営について
年 4 回	給食会議（松柏園・みずき園合同）	担当支援員	給食業務全般、栄養指導について

## 9 職員研修の状況

### （1）施設内研修

実施日	研修名	講師	場所	参加職員	参加人数	研修内容
11 / 12	令和 2 年度 職員内部研修	セコム担当者	食堂	全職員	1 3 名	AED の使用方法 心肺蘇生法の使用手順スキル アップ講習
3 / 23	令和 2 年度 職員内部研修	園長	事務室	全職員	1 3 名	令和 2 年度虐待防止・権利擁護研修会復命研修 テーマ 「固有のニーズをもつ人の人権を考える～相模原障害者殺傷事件が問いかけるもの～」

### （2）施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
7 / 16 ～17	令和 2 年度障がい者相談支援従事者初任者研修	岩手県社会福祉士会	Web 受講 事務室	生活支援員	1 名	講義 相談支援の目的 相談支援の基本的視点等
9 / 6	クリーニング業務従事者講習	岩手県生活営業指導センター	釜石地区合同庁舎	指導員補助	1 名	資格取得のための研修
9 / 6	クリーニング師研修	公益財団法人岩手県生活営業指導センター	釜石地区合同庁舎	副園長 生活支援員	2 名	定期研修

9/25	危険物取扱者保安講習	一般財団法人 消防試験研究 センター	アンバーホ ール	生活支援員 指導員	2名	定期研修
10/7	危険物取扱者保安講習	一般財団法人 消防試験研究 センター	二戸市民文 化会館	副園長	1名	定期研修
10/21 ~28	令和2年度岩手県 サービス管理責任 者等基礎研修	岩手県社会福 祉士会	Web 受講	生活支援員	1名	講義 発達・アセスメント 事例を通じた見立てポイント の解説、プランニング
10/30	令和2年度岩手県 サービス管理責任 者等基礎研修	岩手県社会福 祉士会	ふれあいラ ンド岩手	生活支援員	1名	演習 個別支援計画の作成等
11/16	令和2年度岩手県 サービス管理責任 者等更新研修	岩手県社会福 祉士会	ふれあいラ ンド岩手	主任生活支 援員	1名	講義「障害者福祉施策の最新 の動向 演習「サービス提供の自己検 証に関する演習」

# 令和2年度 みずき園事業報告書

## 1 総括

みずき園事業計画及び運営規程に基づき、利用者一人ひとりの障がい特性を尊重しながら、生産活動と生活支援を通じて知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら、適切な指定就労継続支援B型サービスを実施した。

施設の利用状況は、大きな変動なく推移し、体調不良等による欠席者もあったが概ね安定した利用となった。利用率及び平均利用者数はほぼ昨年並みとなった。

就労支援事業においては、利用者の高齢化、障がい特性や日々の心身状態の変化に応じた細かな作業支援に努めながら、顧客ニーズに合わせた商品の製造・販売を継続した。また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、主力商品の売上の減少、年2回開催のバザーが中止となるなど厳しい状況が続いたなか、年度後半から農福連携による施設外就労の拡充を図り、授産収入の減少を補うことが出来た。これにより平均工賃月額は昨年度並みを維持することが出来た。

利用者支援においては、新型コロナウイルス感染症対策の為、外出を伴う行事の自粛や行事規模を縮小する等の対応を余儀なくされたが、日中活動における創作活動の継続と園内行事において利用者の嗜好や特性に配慮しながら、全員が楽しむことが出来るよう内容の工夫をし、満足度の向上と登園意欲を維持出来るように支援した。

## 2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成19年4月1日
- (3) 定員 40名
- (4) 主たる対象者 知的障害者
- (5) 就労支援種目 食品製造・リサイクル・製粉加工・その他
- (6) 職員の配置状況 (令和3年3月31日現在) (単位：人)

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算後の員数
		専従	兼務	専従	兼務	
園長 (管理者)	1		1			1
総務課長	1	1				1
サービス管理責任者	1	1				1
職業指導員	5	4		1		4.8
生活支援員	3	3				3
目標工賃達成指導員	1	1				1
調理員	3			3		1.8
運転手	2			2		1.1
合 計	17	10	1	6		14.7

## 3 施設サービスの状況

### (1) 個別支援

アセスメントにより利用者と家族のニーズを把握し、希望する日中活動や生産活動の方向性及び生活支援を含めた個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービス提供に努めた。

- ・支援検討会議 年2回実施

## (2) 作業支援

利用者個々の障がい特性を考慮した上で作業科を決定し、基本的に同一作業科を継続して取り組んだ。また、高齢化や障がい特性により作業への取り組みに一定の配慮を要する利用者が増加傾向であるため、創作活動や農園作業等の多様な活動を組み入れ、心身の安定と作業意欲の維持向上を図った。

## (3) 社会生活支援

新型コロナウイルス感染症対策を優先し、外出を伴う行事の自粛や行事規模を縮小する等の対応を余儀なくされたが、利用者の生きがいのある豊かな生活のため、各種の園内行事を創意工夫をしながら実施した。

- ・春の行事（ミニレク）、夏の行事（焼肉ランチ）、ふれあい旅行代替行事（園内スタンプリー）、秋の行事（ミニ運動会）、プチ忘年会、ミズキまつりと成人を祝う会、慰労食事会等

## (4) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、毎月の工賃支給日に体重測定を行うほか、岩手県予防医学協会の移動検診車による健康診断を年1回（2月）施設内で実施。また、希望者には医療機関においてインフルエンザの予防接種（11月・26名）を実施した。

新型コロナウイルス感染症対策として、毎朝の検温の実施と自動アルコール噴霧器を設置し手指の消毒に努めた。

## (5) 給食サービス

給食を希望する利用者を対象に、利用者の身体状況、栄養や嗜好に配慮するために、アンケート調査を実施し（年2回）、少食を希望する利用者へも対応しながら、調理可能な範囲でバラエティーに富んだ手作りの食事（有料）を提供した。

- ・給食サービス利用者数 41名（利用率97.6%）
- ・食事提供に係る実費徴収額 1食当たり340円

※低所得者の軽減措置適用の該当者は原材料費相当額の298円

## (6) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。利用者38名（利用率90.4%）

## (7) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、みずき園消防計画に基づき、消防署指導による総合防災訓練（年1回10月）、自主避難訓練（年1回4月）を実施した。

## (8) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、各グループホームと連携しながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

また、毎月開催されるグループホーム個別支援会議を通して利用者情報を共有しながら職員間の連携を図り支援に努めた。



#### 4 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

(1) 月別在籍利用者数 (単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男性	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288	24.0
女性	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	18.0
合計	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	504	42.0

(2) 障害別利用者状況 (単位：人)

	知的障害		身体障害	精神障害	合計
	A判定	B判定	1級	2級	
男性	9	13	1	1	24
女性	6	12	0	0	18
小計	15	25	1	1	42

(3) 年齢別利用者状況 (単位：人)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計	平均年齢
利用者数	0	8	19	7	6	2	42	38.0歳

(4) 出身市町村別利用者状況 (単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	その他	計
利用者数	26	12	3	1	0	42

#### 5 施設利用状況

月別区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数(日)	22	19	22	23	20	22	22	21	21	20	20	23	255
延利用者数(人)	829	712	820	864	729	793	826	763	774	718	748	853	9,429
1日平均利用者数(人)	37.7	37.5	37.3	37.6	36.5	36.0	37.5	36.3	36.9	35.9	37.4	37.1	37.0
利用率(%)	89.7	89.2	88.7	89.4	86.8	85.8	89.4	86.5	87.8	85.5	89.0	88.3	88.0

## 6 就労支援事業の状況

### (1) 年間事業収入

作業科	収入(円)	前年度対比(%)	
食品製造科	4,114,349	85.8	
菓子製造	4,114,349	85.8	
出店販売	0	—	
受託事業科	3,694,810	101.9	
松柏園給食業務	3,677,560	101.6	
その他(消費税申告に係る戻入れ)	17,250	—	
リサイクル科	1,898,144	91.8	
園内	ウエス	437,195	85.0
	古着販売	85,959	14.4
	自主製品	127,180	81.5
	クリーニング取次等	12,480	41.2
	味噌	65,150	104.2
	その他(環境整備等)	165,200	—
園外	缶等リサイクル	271,130	99.0
	農園作業(委託料含む)	116,600	106.0
	チップ加工受託	165,000	100.0
	施設外就労	339,250	304.4
	その他(受託作業等)	113,000	248.0
製粉事業	1,406,139	82.2	
製粉加工	製粉加工	753,676	85.8
	商品販売	598,174	87.6
	のだ塩	50,709	34.9
	その他(消費税申告に係る戻入れ)	3,580	—
合計	11,113,442	91.1	

### (2) 工賃支給状況

	令和2年度目標	令和2年度実績	備考(前年度実績)
平均工賃月額	5,200円	5,742円	5,699円

### (3) 各科の状況

#### ①食品製造科 [菓子製造]

新型コロナウイルス感染症の影響から、通年販売の産直施設は来客者が減少し売り上げも30～50%の減少となった。各地のイベントも軒並み中止となり販売の機会が全く無かった。その中、夏と冬のギフトの売り上げは20%の増加であり、その要因としては、市内企業からの受注は少なかったものの保護者や役所関係からの協力が大きかった。これにより昨年より15%の減少に留まった。

## ②受託事業科 [松柏園給食業務]

給食提供の安定と継続のため職員体制を強化し安全な提供に努めた。また、個別の希望に関しては、委託先との情報共有を密にし、提供の可否について検討および精査し対応に努めた。

## ③リサイクル科

[ウエス]	売上の減少はあったものの定期的な受注数は確保できた。ただ、新型コロナウイルス感染予防対策のため、ウエス等の原料となる古着の回収をすることが出来なかった。
[古着・自主製品]	新型コロナウイルス感染予防対策のため、夏・冬年2回のバザーが中止となり、大きな売上の機会を失った。また、各イベント等も中止となり、自主製品の手作り品も販売できなかった。大きな売上には繋がらないものの布マスクを製造・販売し取り組んだ。
[缶等リサイクル]	従来企業・団体への定期的な回収の継続と利用者家族へのチラシ等で定期的な働きかけをし、作業材料の安定確保に努めた。
[農園作業]	農福連携作業では、昨年度に続き、ほうれん草生産農家の「ハウス内除草作業」、ミニトマト生産農事組合の「パック詰め作業」、菌床しいたけ生産農家の「廃菌床片付け作業」に取り組んだ。 さらに今年度の後半には、他の農業生産者へ積極的な働きかけを行い、新たに菌床しいたけ農家3者と「廃菌床片付け作業」を受託契約することが出来た。その内1者は大規模に事業を展開しているため、概ね毎月定期的に作業ができることとなり、従来農業生産者との日程調整を図りながら取り組んだ。 また、久慈市社会福祉協議会「ふれあい農園」の委託契約のジャガイモ栽培は例年並みの収穫量を納品した。

## ④製粉事業

[製粉加工]	新型コロナウイルス感染症の影響から既存取引企業の桑葉製粉加工の量が大きく減少したものの一年間継続し受注を受けた。また、個人客の製粉加工も同様の影響から受注が減少したが、定期的に連絡を取り受注に繋げた。 その他、設備面では、乾燥機の修理が必要となり、修繕費がかかり、収支のマイナスの要因となった。
[商品販売]	産直施設等での販売は、新型コロナウイルス感染症の影響から大きく減少し、やませ土風館、たねいち産直は例年より減少したが、一年を通じ継続して受注があった。それ以外は、一年を通じほぼ受注が無い状態だった。

## 7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参 加 者 等
4	1 3	年間皆勤賞表彰式	食堂	対象利用者 9 名、利用者、職員 家族会役員 7 名、職員 3 名 利用者、職員 利用者、職員
	1 9	第 1 回家族会役員会・決算監査	食堂	
	2 3	お茶会	食堂	
	2 8	自主避難訓練	園敷地内	
	3 0	みずき通信「春号」発行		
5	6	春の行事（ミニレク・お菓子作り）	園内	利用者、職員 家族会役員 7 名、職員 3 名 家族会役員 7 名、職員 3 名
	1 0	家族会臨時役員会	食堂	
	3 1	家族会総会（書面議決） 第 2 回家族会役員会	食堂	
6				
7	1 0	夏の行事（焼肉ランチ・縁日）	園敷地内	利用者、職員
	3 1	みずき通信「夏号」発行		
8	1 4	夏季休暇		利用者、職員 利用者
	2 0	夏期特別工賃支給		
9	1 1	ふれあい旅行代替行事 （園内スタンプラリー）	園内	利用者、職員
10	1 5	自主避難訓練	園敷地内	利用者、職員 実習生 1 名 利用者 26 名、職員 9 名
	1 5	みずき通信「秋号」発行	園内 関上こどもクリニック	
	19～23	拓陽支援学校後期実習受け入れ		
	19～20	インフルエンザ予防接種		
11	6	秋の行事（ミニ運動会）	園内	利用者、職員
12	1 1	プチ忘年会	園内	利用者、職員 利用者 利用者、職員 利用者、職員 利用者、職員
	1 8	冬期特別工賃支給	園内 園内	
	2 4	クリスマス会		
	2 9	年末大掃除・仕事納め式		
	30～1/3	年末年始休暇		
1	4	仕事始め式	作業室	利用者、職員 利用者、職員
	1 5	ミズキまつり・成人を祝う会	作業室	
	2 9	みずき通信「冬号」発行		
2	1	利用者健康診断	園内（岩手県予防医学協会検診車）	利用者 利用者、職員
	2 3	冬の行事（小久慈焼制作・書道等）	園内	
3	7	第 3 回家族会役員会	食堂	家族会役員 7 名、職員 3 名 利用者、職員
	2 6	慰労食事会	食堂	

※毎月 2 0 日は工賃支給日、体重測定、ごちそう給食の日

## 8 定例会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定、授産業務全般について
毎月1回	工賃支給会議	全職員	利用者の工賃支給額の決定について
年2回	支援検討会	園長、支援員	利用者の個別支援計画について
毎月1回	グループホーム支援会議	園長、担当支援員、全世話人	4ホームの運営全般について
毎月1回	各グループホーム個別支援会議	担当支援員、世話人	入居利用者の個別支援について
毎月1回	運営会議（4事業所合同）	園長、担当職員	各事業所の運営について
年2回	工賃評価会議	園長、担当職員	利用者の作業能力評価について
年4回	給食会議（松柏園、みずき園合同）	園長、担当職員	給食業務全般、栄養指導について

## 9 職員研修の状況

### （1）施設内研修

実施日	研修名	講師	場所	参加職種	参加人数	研修内容
3/22	虐待防止復命研修会	園長	事務室	全職員	14名	令和2年度虐待防止・権利擁護研修会復命研修 テーマ 「固有のニーズをもつ人の人権を考える～相模原障害者殺傷事件が問いかけるもの～」

### （2）施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
1/27	食品衛生法改正に関する説明会	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	職業指導員	1名	食品衛生法の一部改正する政省令と法に関する資料の確認 HACCP に沿った衛生管理の制度化について
2/7	福祉バンク大市視察	盛岡市民福祉バンク	岩手県公会堂	園長 主任職業支援員 主任生活指導員	3名	バザー開催のノウハウやコロナ対策について参考にする為
2/9	農福連携に係る意見交換会	県北広域振興局農政部	久慈地区合同庁舎	主任職業指導員 生活支援員	2名	県内先進地事例調査等の報告 農福連携マッチング支援に関する情報交換
3/12	令和2年度虐待防止・権利擁護研修会	岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会	盛岡市アートホテル	園長	1名	講演 「固有のニーズをもつ人の人権を考える～相模原障害者殺傷事件が問いかけるもの～」

## 令和2年度 共同生活援助事業報告書

### 1 総括

みずき園共同生活援助事業運営規程に基づき、利用者一人ひとりの障がい特性、ニーズに合わせ地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援した。

年間を通じて充足率 100%を維持し、休日や長期休暇に家族の元へ帰省する機会が減少しホームで過ごす利用者が増加傾向で推移した。利用者の疾病、加齢に伴う心身状態の変化に伴い医療機関や複数のサービスを併用する利用者が増加しており関係機関と連携し支援を行った。また、一般就労している利用者1名が自立に向けアパートでの一人暮らしに移行した。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、各ホームに次亜塩素酸空間除菌脱臭機を設置し感染防止対策を実施した。

### 2 共同生活住居の所在地及び利用定員

名称	所在地	利用定員	総定員
みずきハウス	久慈市長内町第20地割61番地4	女性5人	22人
なごみハウス	久慈市栄町第37地割78番地16	男性5人	
のどかハウス	久慈市川貫第5地割20番地67	男性6人	
きららハウス	久慈市川貫第9地割24番地1	男性6人	

### 3 職員の配置状況（令和3年3月31日現在）（単位：人）

職種	員数	常勤	非常勤	常勤換算後の員数
管理者	1	1		1
サービス管理責任者	1	1		1
生活支援員	1	1		1
世話人	6	5	1	5.6
合計	9	8	1	8.6

### 4 利用者の状況

#### （1）月別・ホーム別在籍利用者数

（単位：人）

ホーム別	月別												計	充足率 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
みずきハウス (定員5人)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	100%
なごみハウス (定員5人)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	100%
のどかハウス (定員6人)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	100%
きららハウス (定員6人)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	100%
合計	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264	100%

## (2) 障害支援区分別利用者状況

(単位：人)

障害支援区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分 1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	35
区分 2	12	11	11	11	11	11	11	11	11	10	10	11	131
区分 3	6	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8	86
区分 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分 5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264

## (3) 出身市町村別利用者状況

(単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	一戸町	計
利用者数	11	7	2	1	1	22

## 5 サービス内容

## (1) 個別支援

利用者の人権を尊重し、一人ひとりのニーズを大切にしながら、本人及び家族の同意を得た個別支援計画に基づいて関係機関と連携を取り支援を実施した。又、必要に応じて買い物や行事参加の同行支援や各種手続き支援を行った。

## (2) 食事の提供

栄養並びに嗜好を考慮し、利用者一人ひとりの心身状態に配慮した食事を適切な時間に提供した(朝食：7:00～ 夕食：18:00～)。また、休日の昼食は各自自由に用意しているが必要な場合は買物等の同行、代行支援を行った。

※一般就労している利用者の勤務時間によって個別対応を行った(朝食、昼食、夜食)。

## (3) 入 浴

1週間に3回以上の入浴、希望により毎日の入浴を行った。利用者の心身状態に応じ入浴準備、見守り支援を行った。

## (4) 排 泄

個人のプライバシーを尊重の上、利用者の心身の状況に応じて適切な方法により、必要な援助を行った。

## (5) 地域生活支援

一人ひとりが地域で暮らし続けられるように家族や関係機関との連携、日常生活自立支援事業との連絡調整を行った。また必要に応じて各種手続きの同行、代行支援を行った。

## (6) 健康管理

利用者一人ひとりの健康状態を把握し、必要に応じて掛かりつけ医や協力病院での定期通院、不定期通院等の通院同行支援を行った。また、健康診断、食事栄養指導等への同行支援を行った。

## (7) 余暇支援

新型コロナウイルス感染症の拡大により感染症対策を優先しながら利用者一人ひとりの希望を尊重しホーム内外での交流や楽しみを取入れ余暇の充実に繋げた。長期休暇に家族の元に帰宅が難しい入居者においては行事食の提供を行った。<誕生日会、クリスマス会等>

## (8) 相談支援

利用者の心身の状況や環境等の把握に努め、利用者または家族の相談に応じながら、必要な助言やその他の援助を行った。

また、各市町村、関係機関と連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援を行った。

6 利用料金（事業者が利用者から直接受領する費用及びその額は次のとおり）

	サービス利用料	家賃 (個室)	食費 (1食あたり)	水道光熱費 (電気、水道、灯油、日用品費等)
みずきハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	20,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
なごみハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	25,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
のどかハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	18,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
きららハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	18,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収

※家賃については、市町村からの家賃補助を受ける場合、月額10,000円を控除した額を受領。

7 非常災害対策

災害時を想定した避難、通報、消火訓練を4ホーム合同、各ホーム毎に実施。(11月)

災害時を想定した避難、支援者不在時の擬似通報体験を各ホーム毎に実施。(3月)

水害時を想定した避難、通報訓練を2ホーム(みずき・なごみ)実施。(7月)

8 定例会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	グループホーム全体支援会議	園長、サービス管理責任者、生活支援員、世話人等全員	グループホーム全体の利用者支援について
毎月1回	各ホーム支援会議(ホーム毎)	サービス管理責任者、生活支援員、担当世話人等	利用者の個別支援について

9 職員研修の状況

(1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	場所	参加職種	参加人数	研修内容
3/22	「虐待防止復命研修会」	園長	みずき園	サービス管理責任者 生活支援員	2名	令和2年度虐待防止・権利擁護研修会復命研修 テーマ 「固有のニーズをもつ人の人権を考える～相模原障害者殺傷事件が問いかけるもの～」
3/22	「虐待防止復命研修会」	園長	みずき園	世話人	6名	令和2年度虐待防止・権利擁護研修会復命研修 テーマ 「固有のニーズをもつ人の人権を考える～相模原障害者殺傷事件が問いかけるもの～」



# 令和2年度 あすリード本舗事業報告書

## 1 総 括

あすリード本舗運営規程に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの障がい特性や個性を尊重しながら、生産活動を通じて就労移行に向けた知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら適正な就労継続支援B型サービスを提供した。

施設の利用状況は、4月に久慈拓陽支援学校より3名の方が新たな利用者として入所し22名でのスタートとなった。5月から1名が新規利用を開始し23名の契約者数となった。11月に1名が一般企業に就職、1名が他のB型事業所へ移り、3月末で1名が退所となった。

## 2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成30年10月1日
- (3) 定 員 20名
- (4) 主たる対象者 知的障害者
- (5) 就労支援種目  
麺製造作業、菓子製造作業、販売事業、受託作業（のだ塩、炭袋詰め等）
- (6) 職員の配置状況（令和3年3月31日現在）

（単位：人）

職 種	員数	常勤		非常勤		常勤換算後の員数
		専従	兼務	専従	兼務	
施設長（管理者）	1	1				1
サービス管理責任者	1	1				1
事務員	1	1				1
生活支援員	1	1				1
職業指導員	4	4				4
目標工賃達成指導員	2	2				2
運転手	2			2		1. 1
合 計	12	10		2		11. 1

## 3 施設サービスの状況

### (1) 個別支援

利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、利用者本人及び家族等の同意を得た個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービスの提供に努めた。

- (2) 作業支援  
利用者個々の実情に応じた作業ができるように環境を整え、就労への作業意欲、能力の向上に向けた継続的な就労の場を提供するとともに、個々の勤労意欲が高まるよう支援した。
- (3) 実習・就労移行支援  
一般就労希望者に対し、利用者個々のスキルアップや能力・就労意欲の向上が図れるよう支援に努め、実習先を確保し実習を実施した。
- (4) 社会生活支援  
新型コロナウイルス感染症対策を優先し、外出を伴う行事の自粛や行事規模を縮小する等の対応を余儀なくされたが、利用者の生きがいのある豊かな生活のため、各種の施設内行事を創意工夫しながら実施した。  
また、利用者自治会への活動支援を継続的に行った。
- (5) 健康管理  
利用者個々の健康状態を把握するとともに、定期的に体重及び血圧測定を行うほか、健康診断を2月に実施した。  
新型コロナウイルス感染症対策として、毎朝の検温の実施と体調確認を行うとともに、手指の消毒の徹底を行った。
- (6) 送迎サービス  
送迎対応可能地域に居住しており、自主通勤ができない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。  
・送迎サービス対象者数 18名
- (7) 安全対策  
非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、あすリード本舗消防計画に基づき、消防署指導による防災総合訓練（年1回10月）、通報・避難訓練（年1回5月）を実施した。
- (8) 地域生活支援  
各市町村、チャレンジドセンター久慈、グループホームとの連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。  
グループホーム利用者に対しては、みずき園グループホーム個別支援会議へ担当支援員が参加するなど、グループホーム従業者との情報共有を図りながら、チームケアの一員として生活支援に努めた。
- (9) 苦情受付体制  
提供した施設サービスについて利用者やその家族からの苦情・相談を受け付ける苦情受付窓口を設置し、利用者主体の福祉サービスの確保と権利擁護に努めた。

#### 4 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

##### (1) 月別在籍利用者数

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
男性	15	15	15	15	15	15	15	14	14	14	14	14	175	14.6
女性	7	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	90	7.5
計	22	23	23	23	23	23	23	21	21	21	21	21	265	22.1

(2) 障害別利用者状況

(単位：人)

種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級	3級	手帳なし	
人数	1	1	0	0	0	0	0	16	2	1	0	0	21
小計	2						16		3				

(3) 年齢別利用者状況

(単位：人、才)

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
人数	3	3	5	10	0	0	21	35.1

(4) 出身市町村別利用者状況

(単位：人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	計
人数	12	6	3	0	21

## 5 施設利用状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数 (日)	22	20	22	23	20	22	22	21	22	20	20	23	257
延利用者 数 (人)	452	410	445	476	417	431	422	385	407	372	369	425	5011
1日平均利 用者数(人)	20.5	20.5	20.2	20.7	20.9	19.6	19.2	18.3	18.5	18.6	18.5	18.5	19.5
利用率 (%)	93.4	89.1	87.9	90.0	90.7	85.2	83.4	87.3	88.1	88.6	87.9	88.0	88.3

## 6 就労支援事業の状況

本年度の就労支援事業収入は35,429千円と前年対比89.0%と前年を下回る実績となった。

総じて新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発出されたことにより年度初めから人の動きが悪く、商品の動きも鈍く大きな減収となった。特にも5月のゴールデンウィークには大きな取引先の休業、お盆、年末年始を含めて観光客、帰省者も少なく商品の動きが鈍かった。

中でも道の駅関係の落ち込みが大きく、観光物産館ばあふるが前年対比79.0%、大野ふるさと公社が前年対比91.4%、産直まちなかが前年対比75.0%となった。

(1) 年間事業収入

項 目	収 入 (円)	前年度対比 (%)
食品製造事業	1, 730, 965	63.5
製麺事業	26, 311, 268	87.8
販売事業	1, 437, 664	106.8
受託事業	5, 949, 893	103.0
合 計	35, 429, 790	89.0

(2) 工賃支給状況

	令和2年度目標	令和2年度実績	備考 (前年度実績)
平均工賃月額	26, 000円	28, 252円	30, 080円

(3) 各事業の状況

<食品製造事業>

年間売上は 1,730 千円となり前年対比 63.5%と減少した。

主な取引先の「観光物産館ぱあふる」の影響が大きく、同施設のゴールデンウィークの休業、観光客の減少により減収となり、年間を通して前年対比で 50%と大きく落ち込んだ。

商品の動きが鈍いということで、作業量も減少したが、受託作業への人員の投入で利用者の作業を確保することができた。

収 支 状 況 (円)		
収入	かりんとう	1,160,496
	その他菓子類	283,540
	計	1,730,965
支出	製造原価	3,491,184
	販売管理費	19,298
	計	3,510,482
部門収支		▲1,779,517

<製麺事業>

年間売上は 26,311 千円となり、前年度対比 87.8%となった。

特に麺類については、帰省客の減少により量販店への納品が年間を通じて減少し、特にユニバースは前年対比 89.7%と落ち込んだ。また、食堂関係も前年対比 80%と落ち込んだことも減少の要因となった。

また、今年度はゆうパックの販売ができなかった。

収 支 状 況 (円)		
収入	袋・パック・箱	10,941,926
	麺 類	12,493,678
	ス ー プ 類	2,875,664
	計	26,311,268
支出	製造原価	18,697,352
	販売管理費	2,653,169
	計	21,350,521
部門収支		4,960,747

<販売事業>

年間売上は、1,437 千円となり、前年度対比 106.8%となった。増加した要因としては、お中元、お歳暮ギフトの際、「青の国ふだい」からこんぶ饅頭、昆布ラーメンを仕入販売し堅調な売り上げがあった。

みずき園からクッキー、サブレ等を仕入れて販売も行った。

収 支 状 況 (円)		
収入	ギフト商品	1,151,270
	その他	286,394
	計	1,437,664
支出	製造原価	1,302,986
	販売管理費	62,792
	計	1,365,778
部門収支		71,886

<受託事業>

年間売上は、5,949 千円となり、前年度対比 103.0%と増加した。

木炭の袋詰め作業の受託については、注文が集まる時期もあったが注文に間に合わせた生産が行われ、前年対比 93.7%となった。

のだ塩作業受託については、のだ塩製造量の増加に伴い作業量が増え、前年対比 108.0%となった。

農福連携事業として、10月にワイン向け山ぶどうの調整作業を受託し、5日間現地に出向き作業を行った。

また、年間を通じておおのミルク工房よりアイスクップ等のシール貼の依頼があり対応した。

収 支 状 況 (円)		
収入	のだ塩作業受託	3,031,314
	炭作業受託	2,510,840
	その他作業受託	407,739
	計	5,949,893
支出	製造原価	7,605,834
	販売管理費	1,100
	計	7,606,934
部門収支		▲1,657,041

## 7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参加者等
5	13	自主避難訓練	園庭	利用者・職員
6	10	利用者勤続 20 年表彰 1 名	会議室	利用者・職員
6	10	利用者親睦会「さくらの会」総会	食堂	利用者
8	5	施設行事（食事会）	ビストロくんのこ	利用者・職員
10	20	施設行事（レクリエーション）	園庭	利用者・職員
10	21	防災総合訓練	園庭	利用者・職員
12	16	施設行事（忘年会）	食堂	利用者・職員
2	1	利用者健康診断	みずき園	利用者
3	4	食事会（ラーメンデー）	食堂	利用者
3	30	慰労食事会	食堂	利用者・職員

## 8 会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内 容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定について
毎月1回	授産会議	全職員	授産業務全般について
毎月1回	支援会議	全職員	利用者の個別支援について
毎月1回	手話講習会	利用者	手話講習
毎月1回	運営会議	施設長、担当職員	法人内全事業所の運営について

## 9 職員研修の状況

### (1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	場所	参加職種	参加人数	研修内容
3/24	虐待防止・権利擁護研修会復命研修	施設長	事務室	全職員	9名	令和2年度虐待防止・権利擁護研修会復命研修 テーマ 「固有のニーズをもつ人の人権を考える～相模原障害者殺傷事件が問いかけるもの～」

### (2) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場 所	参加職種	参加人数	研修内容
10/22	HACCP 計画書作成講習会	岩手県食品衛生協会久慈支会	久慈地区合同庁舎	施設長	1名	HACCP に沿った衛生管理の制度化について HACCP の考え方を取り入れた衛生管理計画作成
3/12	令和2年度虐待防止・権利擁護研修会	岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会	盛岡市「アートホテル盛岡」	施設長	1名	講演 「固有のニーズをもつ人の人権を考える～相模原障害者殺傷事件が問いかけるもの～」

## 令和2年度 チャレンジドセンター久慈事業報告

### 1. 障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）実施結果

区分	計画内容	具体的実施状況
1 人件費	主任就業支援担当者1名、就業支援担当者2名を配置し、以下の業務を行う。	主任就業支援担当者1名、就業支援担当者2名を配置し、以下の業務を行った。
2 事業費	<p>○障害者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の援助を行う。</p> <p>○事業主に対して障害者の就職後の雇用管理に係る助言等を行う。</p> <p>○障害者に対して、職業準備訓練及び職場実習をあっせんする。</p> <p>○在職中の対象障害者を対象に、グループワーク等で職場での悩み等を話し合う交流の場を定期的に提供し、不適応課題の早期把握・改善を図り職場定着の促進を図る。(年5回)</p>	<p>○障害者からの相談・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援対象障害者数 118名</li> <li>・相談支援件数 2,352件</li> <li>・就職件数 18件</li> </ul> <p>○事業主に対する助言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援対象事業所数 35社</li> <li>・相談支援件数 133件</li> </ul> <p>○職場実習等のあっせん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あっせん件数 12件</li> </ul> <p>○主な相談支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力企業を中心に支援への協力を働きかけ、職場実習を行った。</li> </ul> <p>○新型コロナウイルス感染症感染防止のため事業を実施できなかった。</p>

	<p>○ 障害者就業・生活支援センターにおける就業支援担当者経験交流会議に出席し、他のセンターとの交流・情報交換を行う。(就業支援担当者1名)</p> <p>○ その他、岩手県並びに関係機関及び団体が主催する会議・研修に参加し資質の向上に努める。 (主任就業担当者1名、就業支援担当者2名)</p> <p>○業務の円滑かつ有効な実施に資するため、岩手労働局、ハローワーク、岩手障害者職業センター、県北広域振興局、久慈市、洋野町、野田村、普代村、等の関係機関との連携を図る。</p> <p>○ 久慈地域障害者自立支援協議会就労分科会と連動しての連絡会議を開催し、関係機関との連携を図る。 (年5回)</p> <p>○ 久慈地域障害者自立支援協議会の各分科会と連携を図る</p>	<p>○岩手県障害者就業・生活支援センター連絡協議会主催の定期研修会に参加し、資質の向上に努めた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症感染防止のため事業を実施できなかった。</p>
--	---	---



2. 障害者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業）実施結果

支援対象者数	118名 (登録解除者25名)	障がい種別ごとの対象者数	身体14名 知的62名 精神32名 その他10名
新規支援者数	10名	障がい種別ごとの対象者数	身体1名 知的6名 精神3名 その他名
継続支援者数	133名	障がい種別ごとの対象者数	身体20名 知的60名 精神39名 その他14名
相談件数	2,498件	(内訳 家庭訪問 43件 職場訪問 281件 その他 2,116件)	
相談内容	<p>(1) 主に就労面を中心とする相談 2,352 件 : 離職者や求職者への就労に向けた生活状況の確認や助言等 在職者への通勤方法や職場の人間関係への相談支援や助言等</p> <p>(2) 生活面を中心とする相談 146 件 : 休日の生活の相談支援や助言等 通院に関する相談支援や助言等</p>		
基礎訓練実施者数及び 実施施設	実施施設	就労継続型B型事業所 松柏園	実施者数 0名
	実施施設	就労継続型B型事業所 みずき園	実施者数 0名
	実施施設	就労継続型B型事業所 あすリード本舗	実施者数 0名
関係機関との連携状況 (主な事例及び連携の 内容について記載)	<p>支援対象に合わせ、県内の就業・生活支援センターや久慈地域障害者自立支援協議会就労支援分科会、各相談支援専門員と連携し支援を行っている。</p> <p>(1) 資格取得や通勤等に係る支援。</p> <p>(2) 一人暮らしや結婚・出産等、生活技術に関する支援。</p> <p>(3) 年金申請等の権利擁護に関する支援を相談支援専門員など関係機関と連携して行った。</p>		

### 3. 相談支援事業実施報告

(登録者数)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	153	24	0	109	15	5	0	0
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
計	153	24	0	109	15	5	0	0

(支援方法)

支援方法	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	347	82	26	220	24	200	340	5	1244

(支援内容)

支援内容	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件数	1066	9	40	34	0	25	2	18	22
支援内容	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計					
件数	0	68	0	1284					

(その他)

	巡回相談出席	関係機関会議出席	研修会等出席	ケア会議(I)	ケア会議(II)	専門機関への紹介	計
件数	0	21	10	9	192	0	232

#### 4. 職員研修の状況

##### (1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加人数	研修内容
6月26日	職員研修会	所長	全職員	6名	・ビジネスマナーについて ・支援力向上研修
7月9日	職員研修会	所長	全職員	6名	・来所相談対応時の基本について
10月1日	職員研修会	所長	全職員	6名	・支援の視点について ・ケース記録の書き方について
1月4日	職員研修会	所長	全職員	4名	・対人援助スキルについて
3月25日	職員研修会	所長	全職員	4名	・令和2年度虐待防止・権利擁護研修会復命研修 テーマ 『固有のニーズをもつ人の人権を考える～相模原障害者殺傷事件が問いかけるもの～』

##### (2) 施設外研修

実施日	研修名	主催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
12月4日	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会令和2年度第1回オンライン研修会	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会	オンライン研修	主任就業支援ワーカー 就業支援ワーカー	2名	研修会 『障害者雇用納付金に基づく特例給付金の新制度について』 『障害者助成金について』 等
1月8日	職場で障がい者を理解する学習・相談会	医療と労働・福祉ノートワーキング	宮古市シートピアなど	主任就業支援ワーカー	1名	事例及び実践報告
2月2日	令和2年度岩手県障害者地域生活支援事業連絡協議会定期総会・第2回研修会	岩手県障害者地域生活支援事業連絡協議会	オンライン研修	主任就業支援ワーカー 就業支援ワーカー	2名	研修会 『発達障がいの方々の就労支援について』
3月12日	令和2年度虐待防止・権利擁護研修会	岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会	盛岡市アートホテル盛岡	主任就業支援ワーカー	1名	講演 『固有のニーズをもつ人の人権を考える～相模原障害者殺傷事件が問いかけるもの～』